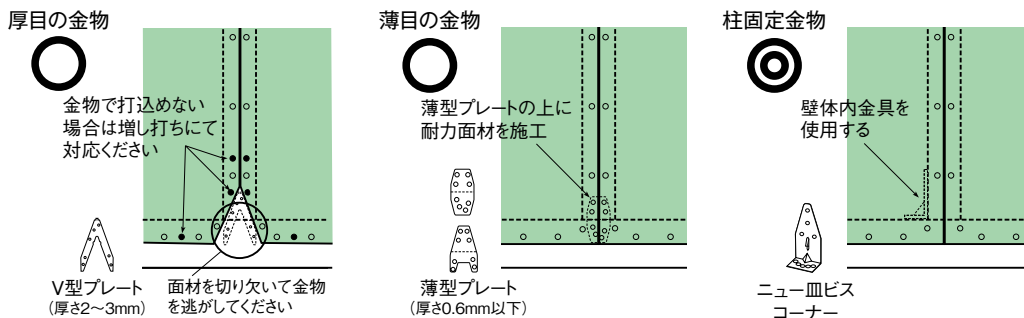


## 2. 細部の施工について (在来軸組工法)

### 1. モイスTM 継手部分の下地について

柱と土台部分での金物の扱いについて

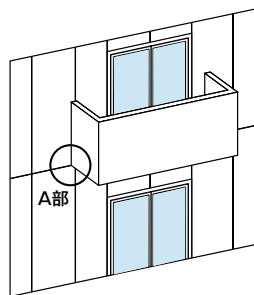
※「住宅金融支援機構木造住宅工事仕様書」による構造用合板の取付けに準拠。



### 2. 桁・梁周辺のモイスTMのかき込み

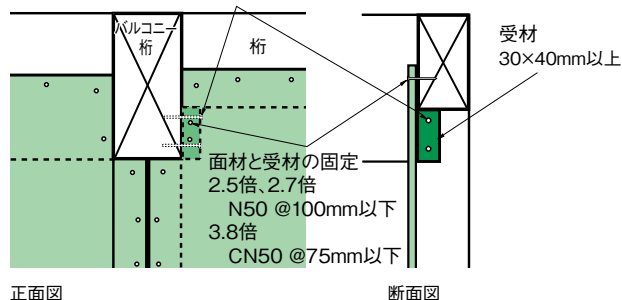
例) 外にはね出た軒やバルコニーなどで  
桁の高さが異なる場所にモイスTMを施工する場合

注: 桁・梁でモイスTMをかき込む場合は裏面に受材を補強してください。

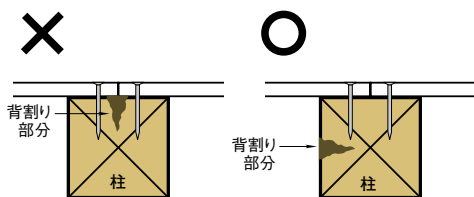


受材と桁の固定(受材寸法:30×40mm以上)  
2.5倍、2.7倍  
N75 @200mm以下  
3.8倍  
N75 @100mm以下

A部詳細図

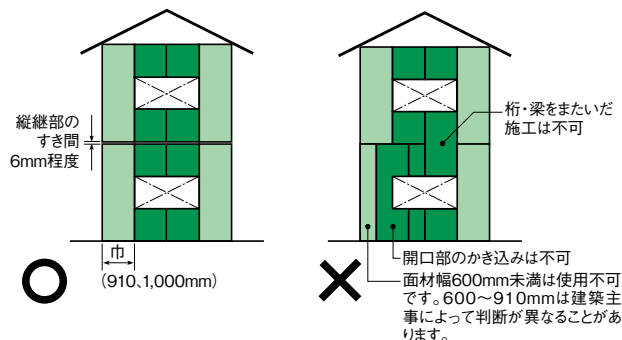


### 3. 仕上りの不具合やトラブル防止



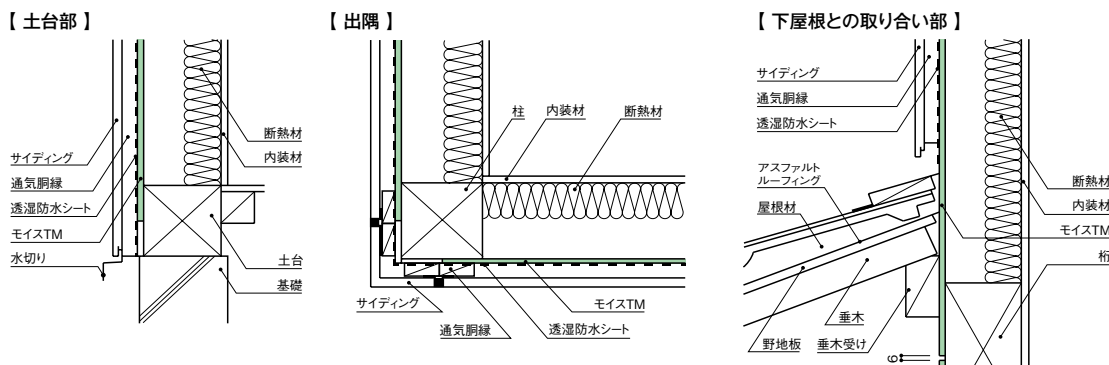
・柱の背割り部分にモイスTMを取付けないようにしてください。

モイスTMの面材割付についての注意点



※ 上図のように施工した場合は耐力壁として認められませんのでご注意ください。

### 4. 各部の納まり



※建物の居住性・耐久性を高めるため、外壁の施工には通気工法をおすすめします。

注: 下屋根の小屋組の前に「モイスTM」の留め付けを行ってください。